

香川高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	保健・体育 I	
科目基礎情報							
科目番号	1120		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	実技・授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	機械電子工学科（2019年度以降入学者）		対象学年	1			
開設期	通年		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員	吉澤 恒星,中瀬 已紀生						
到達目標							
様々なスポーツ種目の実践を通じて、①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成、を目指す。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
様々なスポーツ種目の実践を通じて、健全な身体の発達及び体力の向上がみられる	スポーツ種目全般について、試合をこなす体力が獲得できる。		得意な種目について、試合をこなす体力が獲得できる。		全ての種目において、試合をこなす体力が獲得できない。		
様々なスポーツ種目の実践を通じて、生涯スポーツ実践のための基礎スキルを獲得できる	スポーツ種目全般について、基礎スキルを体現できる。		得意な種目について、基礎スキルを体現できる。		全ての種目において、基礎スキルを体現できない。		
様々なスポーツ種目の実践を通じて、技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度を醸成できる。	授業での種目実践（試合など）においてグループの中でリーダーシップを発揮できる。		授業での種目実践（試合など）においてグループの中で良好な人間関係を構築できる。		授業での種目実践（試合など）において人間関係を構築できない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 D-(3)							
教育方法等							
概要	様々なスポーツ種目の実践を通じて、①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成、を目指す。						
授業の進め方・方法	学習目標①～③に対応して、スポーツ種目の実践を実技形式の授業でおこなう。なお、種目によっては体力状況を考慮して内容を変更する場合がある。						
注意点	グラウンド状況が不良の場合は、特に運動場での実施種目について学習内容を変更する。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション・スポーツテスト		①授業計画の周知、評価方法の理解 ②自身の運動能力の現状把握		
		2週	スポーツテスト		自身の運動能力の現状把握		
		3週	スポーツテスト・ソフトバレーボール		自身の運動能力の現状把握 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成		
		4週	ソフトバレーボール・ソフトボール		①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成		
		5週	ソフトバレーボール・ソフトボール		①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成		
		6週	ソフトバレーボール・ソフトボール		①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成		
		7週	ソフトバレーボール・ソフトボール		①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成		
		8週	ソフトバレーボール・ソフトボール		①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成		
	2ndQ	9週	体育大会		技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成		
		10週	水泳		①健全な身体の発達及び体力の向上 ②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得		
		11週	水泳		①健全な身体の発達及び体力の向上 ②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得		
		12週	水泳		①健全な身体の発達及び体力の向上 ②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得		
		13週	水泳		①健全な身体の発達及び体力の向上 ②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得		
		14週	体育大会		技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成		
		15週	体育大会		技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成		
		16週	試験実施せず				

後期	3rdQ	1週	バレーボール・男子サッカー 女子バドミントン	①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		2週	バレーボール・男子サッカー 女子バドミントン	①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		3週	バレーボール・男子サッカー 女子バドミントン	①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		4週	スポーツ大会練習	技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成基本的な知識の習得
		5週	バレーボール・持久走	①健全な身体の発達及び体力の向上 ②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		6週	バレーボール・持久走	①健全な身体の発達及び体力の向上 ②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		7週	バレーボール・持久走	①健全な身体の発達及び体力の向上 ②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		8週	バレーボール・持久走	①健全な身体の発達及び体力の向上 ②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
	4thQ	9週	スポーツ大会	技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		10週	バスケットボール・男子サッカー 女子バドミントン	①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		11週	バスケットボール・男子サッカー 女子バドミントン	①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		12週	バスケットボール・男子サッカー 女子バドミントン	①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		13週	バスケットボール・男子サッカー 女子バドミントン	①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		14週	バスケットボール・男子サッカー 女子バドミントン	①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		15週	バスケットボール・男子サッカー 女子バドミントン	①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		16週	試験実施せず	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	2	
				自らの考えで責任を持ってものごとに取り組むことができる。	2	
				目標の実現に向けて計画ができる。	2	
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	2	
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	2	
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	2	
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	2	
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	2	
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	2	
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	2	
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	2	
				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	2	
				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている	2	
				法令やルールを遵守した行動をとれる。	2	
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	2	
				技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を挙げることができる。	2	

評価割合

	実技試験	授業出席	授業態度	合計
--	------	------	------	----

総合評価割合	40	50	10	100
基礎的能力	10	50	10	70
専門的能力	30	0	0	30